

認定倶楽部ニュースNo.11



地域連携勉強会 「最新のがん看護」 7月11日



お集まりいただいた職種の方々
 医師：4人、看護師：78人、介護士：2人、
 事務：1人。計85人（院内45人、院外40人）
 院内、市内だけでなく市外からも多くの方に参加い
 ただきました。ありがとうございました。

アンケート結果
 参加して良かった：88%
 内容は適切だった：84%
 時間帯は適切だった：66%
 資料がわかりやすい：80%
 今後の役に立つ：87%
 看護の実際についてもっと学びたい
 という意見も多く頂きました。今後の
 参考にさせて頂きたいと思えます。



がん患者カウンセリング



- 当院における算定件数
2010年：7件、2011年9月現在：4件
- カウンセリング内容
病状説明、治療の説明、がんの告知、度重なるがんの再発、化学療法の導入、療養先などの説明
- 実際の所要時間
多くは40～60分（60分を超える事もある）
- 介入してみた（緩和ケア認定看護師：濱口）
カウンセリング後も緩和ケアチームで継続して関わるケースも多い。告知の段階から介入しているので信頼関係が築きやすい。

- 算定要件
悪性腫瘍と診断された患者に対し、緩和ケアの研修を修了した医師と6か月以上の研修を修了した看護師が同席し、患者の心理状態、プライバシーに十分配慮された環境で患者が十分に理解し、納得した上で治療方針を選択できるように説明した場合500点を算定する。文書での提供も必要となる。

- ★院内自主研修セミナー★
10月6日：創傷セミナー
創傷管理上級編

10月25日：救急セミナー
成人の循環・中枢神経管理
- ★地域連携勉強会★
11月8日：
皮膚・排泄ケア認定看護師：森山
がん化学療法看護認定看護師：川崎

- 課題
告知は外来で行われることが多い。
説明は医師の外来の空き時間で行われたり、ゆっくり時間が確保できる夕方や夜間といった時間外に行われることが多く、時間の調整が難しい…